

# 教育に情熱をかける教師よ、集え!

第四回 日本教育士検定 / 全国名教師授業大会 参加塾

英進館 株式会社 (英進館)  
 eisu group (eisu 幼小中部 / eisu 高校部 / 鈴鹿英数学院)  
 さなるグループ (佐鳴予備校 / 三島進学ゼミナール / 静岡進学ゼミナール / 啓明館 / 九大進学ゼミ / スクール21 / 城北スクール / 中萬学院)  
 進学プラザグループ (仙台進学プラザ / 札幌進学プラザ / 思学舎 / 東葛進学プラザ)  
 株式会社 成学社 (開成教育セミナー)  
 成基コミュニティグループ (成基学園)  
 株式会社 ヒューマレッジ (木村塾)  
 株式会社 ホットライン (特進館学院)

※会社名 50 音順



## 新たな塾のステージへ「さあ、行こう」

閉会式では、さなるグループ取締役の山中玲子氏が次のように語った。「すばらしい授業を見せていただき、ありがとうございました。本日は15の塾の皆さまがお集まりになっております。私たちが所属している塾を創業された方々は、私塾を立ち上げ、塾人としてのスタートを切ったからこそ今の塾があると言えます。当時は今のような組織ができるとは想像すらできなかつたかもしれせん。塾人としての心は今も昔も変わりません。この日本という国を強くしていくためには、「人」しかいません。子どもたちに夢を語り、知識



さなるグループ 山中玲子 取締役



授業を披露した名教師にインタビュー



記念撮影

佐鳴予備校・和田朋子先生の6名。順次壇上上がり、模擬授業を披露。検定の審査項目となるファースト・インプレッション、指導技術、授業運営、知的好奇心、意識高揚のどれにおいても代表の先生方の授業はすばらしく、会場を感動の渦に巻き込んでいった。

私自身は若い頃、中萬学院の創業者。故中萬恵明先生のお言葉が今でも忘れられることができます。「愚か者は愚痴を語る。賢い者は夢を語る。さあ、行こう」とおっしゃったのです。少子化はもろろんのこと、塾関連の課題はいろいろありますが、「さあ、行こう」と言って閉会の辞にしたいと思います。ご静聴ありがとうございました。

来年博多でお待ちしております。まが一流を目指し、思う存分力を発揮できるように、全力で準備いたします。

5月26日(日)、一般社団法人全国教育指導者育成協会(JELTA)主催の第四回「日本教育士検定」及び「全国名教師授業大会」が和洋九段女子中学校高等学校(東京都千代田区)で盛大に開催された。

「日本教育士検定」とは、学習塾の教師の教師力を高めるため、授業力を含めた審査基準に達した教師に「プロフェッショナル教育士」(プロ教師として十全に生徒指導にあたる技量を有している)、「エキスパート教育士」(卓越した技術を持つ教師として、生徒を感動させる授業ができる。クラスまたは校舎の責任者として、進路指導を含めた生徒の管理ができる)、「マイスター教育士」(師範として、教師の教師たる技量を有している。教師集団の管理者として、民間教育機関の運営ができる)の認定を与えるもの。民間教育界のさらなる発展、ひいては日本の教育力向上を目指している。

今年の4月に実施された筆記試験をクリアした教師たちが一堂に結集し、審査員を務めるマイスター教師の前で熱い授業を展開した。授業審査後は、検定合格者の発表及び、代表教師6名による模擬授業が実演された。



(株) 仙台進学プラザ 山根伸吾 教務部長



次回の大会委員長を務める(株) さなる九州 小島康介 代表取締役社長

午後11時から12時25分までは、「日本教育士 エキスパート部門」(二次(実技) 審査規定の部)。教室ごとに3名の審査員(マイスター)が授業を審査するもので、授業の単元は抽選で決定される。今回エキスパートにチャレンジャーした教師は106名。



生徒の心を揺さぶるよつな授業を

午前10時30分から行われた開会式では、審査員を務めるマイスターが紹介されたあと、マイスターを代表して(株) 仙台進学プラザ 教務部長の山根伸吾氏が挨拶。「今日我々マイスターは、授業の高揚感をメインに、新しいトレンドの授業を参考にし、ぜひ教室で還元したいと思っています。体験学習的な感動、心の響き合いなど、生徒たちのナマ体験がより一層求められています。今日は皆さん緊張されていると思いますが、ぜひとも全力で、自由に心を揺さぶるような授業をしてください」

4名のマイスター合格者が誕生

午前11時から12時25分までは、「日本教育士 エキスパート部門」(二次(実技) 審査規定の部)。教室ごとに3名の審査員(マイスター)が授業を審査するもので、授業の単元は抽選で決定される。今回エキスパートにチャレンジャーした教師は106名。昼食休憩を挟んで午後1時から2時10分までは、「エキスパート部門」(二次(実技) 審査規定の部)。同じく教室ごとに3名の審査員(マイスター)が授業を審査するもので、授業の単元は抽選で決定される。今回エキスパートにチャレンジャーした教師は106名。

その後「全国名教師授業大会」が開催された。代表に選ばれたのは、九大進学ゼミ・岡部康二先生、佐鳴予備校・岡村昌弘先生、eisu・国武明宏先生、佐鳴予備校・山中祐介先生、英進館・横溝勇輝先生、

日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、正々堂々、精一杯全力を尽くすこと、そして今日の検定を今後活かして、未来ある子どもたちがプラスの方向に進んでいけるような、一流の教師になることをここに誓います」と宣誓した。

授業の単元はフリーだ。その後各塾の代表が紹介され、熱い実技試験の様子が大きなスクリーンに映し出された。次に、プロフェッショナル合格者、エキスパート合格者、マイスター合格者が発表され、それぞれ認定証を授与された。2019年5月26日(日)に行われた第三回の検定では、マイスター合格者は出なかったが、今回は、佐鳴予備校・岡村昌弘先生(英語)、eisu・国武明宏先生(英語)、佐鳴予備校・山中祐介先生(数学)、佐鳴予備校・和田朋子先生(国語)の4名がマイスターに合格した。

